

2009年1月15日

<報道各位>

国立新美術館  
ユーシーカード株式会社

観覧料をクレジットカード及び「Suica」で支払い可能に！  
「国立新美術館」でクレジットカード及び  
Suica 電子マネーサービスの取扱い開始

ユーシーカード株式会社（以下：UCカード、本社：東京都港区、代表取締役社長：井上誠一郎）と、国立新美術館（所在地：東京都港区、館長：林田英樹）は、美術館観覧料におけるクレジットカード決済サービスおよび東日本旅客鉄道株式会社（以下：JR東日本）が提供するSuica電子マネーサービスを国立新美術館へ導入することに合意いたしました。

2009年1月21日より利用可能となります。

**独立行政法人国立美術館でのSuica電子マネーサービス導入は、「国立西洋美術館」に次いで「国立新美術館」が2番目となります。**

本サービスでは、お客様が国立新美術館の観覧チケットを購入する際に、その代金を、UCカードをはじめとするMasterCard・VISAの国際ブランドが付いた全てのクレジットカードおよびSuica電子マネーで、スピーディにお支払いいただくことが可能となります。

近年、比較的小額な美術館の観覧料については、小銭を出し入れする煩わしさがなくなることから、クレジットカードや電子マネーでの決済を要望する声が高まっておりますが、まだまだ現金の取扱いが多いのが現状です。

国立新美術館では、そのような要望にお応えするべく、2009年1月21日より美術館観覧料におけるクレジットカード決済サービスおよびSuica電子マネーサービスを開始することいたしました。

本サービスの導入により、より一層、入場時の支払い時間を短縮し、お客様の利便性を向上できる効果があるほか、現金管理業務を削減できる効果もあります。

UCカードは、これまでビューカード（View-VISA・MasterCard）発行等、クレジットカード業務を中心にJR東日本とともに、多くの機能をお客様に提供してまいりました。

2006年3月には、JR東日本と「Suica加盟店」の開拓に関する業務提携について合意、「Suica加盟店」の募集を開始しており、今回の国立新美術館でのSuica電子マネーサービスの開始は、この提携の一環として実現したものです。

また、UCカードは、2007年7月、国立西洋美術館（所在地：東京都台東区）に、独立行政法人および全国の美術館・博物館で初めて、Suica電子マネーサービスを導入、その後も2007年10月、石橋財団ブリヂストン美術館（所在地：東京都中央区）にSuica電子マネーサービスを導入しており、今後も、美術館でのキャッシュレス化の拡大に努めてまいります。

## 1. 国立新美術館（観覧券販売窓口）について

住 所 〒106-8558 東京都港区六本木7 - 22 - 2

開館時間 特別展および共催展：午前10時 - 午後6時（入館は午後5時30分まで）

夜間開館：毎週金曜日午後8時まで（入館は午後7時30分まで）

休 館 日 毎週火曜日（ただし、火曜日が祝日又は祝日の振替休日となる場合は開館し、翌日の水曜日が休館）

観覧料 特別展および共催展：観覧料はその都度別に定めます。

## 2. Suica基礎情報(2008年12月末現在)

- Suica発行枚数：約2,699万枚（うち電子マネー対応 約2,437万枚）
- Suica利用可能店舗数：約57,270店舗  
Suicaを導入する店舗では、PASMO、ICOCAもご利用いただけます。
- 1日あたりの取扱件数：最高約134万件（PASMO・ICOCA・nimocaを含む）

「Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。「PASMO」は株式会社パスモの登録商標です。

「ICOCA」は西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。「nimoca」は西日本鉄道株式会社の登録商標です。

以上